

新年を寿ぐ

2011年 御題・干支菓子 販売

とらやでは、新年の宮中歌会始のお題にちなんだ商品と干支にちなんだ商品を発売します。
年末年始のご贈答をはじめ、様々なお集まりにお使いいただける和菓子です。

宮中歌会始のお題にちなんだ菓子

宮中の歌会始は、鎌倉時代の文献にその記録がみられ、江戸時代には、ほぼ毎年催されました。
明治7年(1874)より国民からも歌を募るようになり、今では新年恒例の行事として広く親しまれています。
当店では明治40年(1907)に、歌会始にちなんだ菓子をおつくりした記録があります。
平成23年(2011)の宮中歌会始のお題「葉」にちなんで考案された菓子をご紹介します。

御題羊羹『葉ぼたん』



「葉牡丹」は、その華やかな色合いがおめでたいとされ、江戸時代から日本の正月飾りとして親しまれています。牡丹の花のように美しく重なり合った葉を、紫と白の道明寺羹と緑の煉羊羹で表わしました。

販売価格：1本 3,465円(税込)

販売期間：11月下旬～1月中旬

販売店：全店

『かさね葉』 きんとん製 求肥包御膳餡入



木々の葉は季節のうつろいと共にさまざまな色に変化し、人々を楽しませてくれます。

『かさね葉』は青緑・黄緑・黄のきんとんで、重なりあう葉の彩りを表したお菓子です。

販売価格：1個 420円(税込)

販売期間：2010年12月16日～2011年1月15日

販売店：生菓子販売店

ちぐさ『千草の里』 薯蕷製 白小倉餡入



春いっせいに芽吹いた草をあしらった薯蕷饅頭です。やわらかな日差しのもと、若葉が里山を緑に染めていくさまを思わせます。

販売価格：1個 420円(税込)

販売期間：2010年12月16日～2011年1月15日

販売店：生菓子販売店

『霜の葉』 薯蕷製



霜にあたって表面が変わった葉のことを「霜葉(そうよう)」といいます。『霜の葉』はその様子を、白の薯蕷製、緑の羊羹製と紅く染めた白小豆で表しました。

販売価格：1個 420円(税込)

販売期間：2010年12月16日～2011年1月15日

販売店：生菓子販売店

干支菓子

「干支菓子」の名前は江戸時代の文献や菓子絵図帳には見当たりませんが、新粉細工や飴細工では動物の形をかたどることが多いことから、十二支にちなむものも作られていたと考えられます。新年のお菓子として広まったのは御題菓子同様、明治時代後半以降といわれています。

平成 23 年の干支「卯」にちなんだ商品

干支羊羹『春待ちうさぎ』 	うさぎは、説話や童謡にも登場し、古くから日本人に親しまれています。元気に飛び跳ねたり、小さく丸まって休んだり、うさぎの可愛い姿は、いつの時代も人の心を和ませてくれます。 『春待ちうさぎ』は、雪の降り積もるなか、あたたかな春を待ちわびるうさぎの姿を、紅白の煉羊羹で表わしています。 販売価格：1 本 3,465 円（税込） 販売期間：11 月下旬～1 月中旬 販売店：全店
『よりそう』 桃山製 特製御膳餡入 	兎は月に住んでいるという伝承があるなど、古来日本人に親しまれてきた動物です。『よりそう』は、寄り添う兎の親子をかたどり、おだやかな夜の情景を思わせるお菓子です。 販売価格：1 個 420 円（税込） 販売期間：2010 年 12 月 16 日～2011 年 1 月 15 日 販売店：生菓子販売店
『紅うさぎ』 求肥製 紅餡入 	紅餡をくるんだ求肥に氷餅をつけ、丸くふわふわとした兎の姿を抽象的に表しました。 販売価格：1 個 420 円（税込） 販売期間：2010 年 12 月 16 日～2011 年 1 月 15 日 販売店：生菓子販売店
新年限定パッケージ小形羊羹 小倉羊羹『夜の梅』 抹茶入羊羹『新緑』 黒砂糖入羊羹『おもかげ』 	小形羊羹は、伝統の味を一口サイズでお楽しみいただけるようご用意したものです。 販売価格：1 本 210 円（税込） 販売期間：2010 年 12 月 16 日～2011 年 1 月上旬 販売店：全店
とらやオリジナルグッズ ふろしき『兎饅』 	大正 7 年(1918) より当店に伝わる菓子の見本帳『数物御菓子見本帖』にある『兎饅』の絵柄をモチーフにしたふろしきです。 販売価格：1 枚 1,050 円（税込） 販売期間：2010 年 12 月 6 日～2011 年 1 月上旬 販売店：全店



とらや

お問い合わせ先：株式会社 虎屋 社長室 広報課
電話：03-3408-4128